



国際政治 international politics

中国の民主化、朝鮮半島の統一と
 アジアが政治問題の中心に。
 民主化では
 '97の香港返還が
 引き金になる可能性大。
 中嶋嶺雄

初めからPRして申し訳ないんですが、今度書店に並んでいる本『歴史が求めているものはなにか』（PHP研究所）のなかで、私はこのところの急速な社会主義国の民主化を「八九年革命」と名付けています。

これは一九八九年六月に起こった天安門事件こそが、現在の民主化の流れを作った決定的なものと捉えているからです。「カウンター・レボリユーション（反革命）」なんです。こうして九〇年代は東西冷戦が終焉し、社会主義は崩壊していくわけです。

中国の悲劇が東欧を救った

このあいだ東ドイツのフンボルト大学で中国セミナーをしたんですが、そのときの印象からも「中国の悲劇が東欧を救った」と言っているでしょう。それだけ天安門事件が社会主義国に与

1991

Twelve Prophecies



Nakajima Mineo
東京外国語大学教授（国際関係論・現代中国学）。文化大革命を権力闘争だとして、一貫して批判を展開してきた。著書に「中ソ対立と現代」「北京烈烈」等。1936年、長野県生まれ

えた影響は大きかったんです。

たとえば、東ドイツ。ベルリンの壁が崩壊するとともに、まさかあのような形でホーネッカーが辞任していくとは誰も思わなかったでしょう。あれだけ権力をほしいままにしてきた人物でさえ、天安門のような流血の惨事を回避しようとしたわけです。ルーマニアのチャウシエスクだけは違いましたがね。これはヨーロッパ社会に伝統的に根付く社会的成熟度の違い、すなわち人権感覚の違いです。

中国にしても、このままで終わるわけはない。昨年ゴルバチョフ訪中の直後に天安門事件は起きたのですが、それを契機に噴出した、国民の間にある「民主化要求」の強さに体制崩壊の危機を恐れた結果が、血の粛清だったわけです。

でなければすでに学生の数も減っていた天安門にあえて軍隊を突っ込ませるはずはない。結局は権力闘争と結びついたのですが、同時に力て国民を押しさえ付けることの限界を知っているのは、当の中国共産党幹部だと思えますよ。その意味では、第二の天安門事件

が近い将来起こっても不思議ではありません。

中国や北朝鮮がどういった形で民主化していくかは今後の大問題ですが、この流れはもう決定的なものなんです。

この民主化の流れは、「自由への圧制」もありますが、やはり経済的要因がいちばん大きいでしょうね。東西両ドイツの統一は、西が東を吸収する形になったのですが、実際には、統一声明にも出ていたように、「コール（西ドイツ首相）は東を百二十億マルク（約一兆円）で買った」も同然なのです。

なにしろ、東ドイツからソ連軍が撤退する金もなかったんですから、それを西ドイツが肩代わりしたんです。それほど東ドイツもソ連も経済状態は苦しかった。しかし、東ドイツは経済的に「共産主義の優等生」と言われていたのだから、よその国の窮乏ぶりは予想できるところでしょう。

これからヨーロッパは、東西の格差の問題はありますが、先にも言ったように、ヨーロッパ流の伝統的システムで大きな混乱なく進んでいくものと思えます。

日本の役割は経済援助しかない

そうなると、これからの国際政治の問題は、中国の民主化と朝鮮半島の統一という、アジアがその中心になってくるでしょう。

その前にイラク問題がありますが、私はこれを新しい時代の多面的な国際紛争のひとつとみています。ですから長い目でみると、後になって「ああ、こういうこともあった」という程度の問題ではないでしょうか。

で、アジアの民主化ですが、順序としてはまず中国、そして北朝鮮だと思えます。しかし北朝鮮はいわば「宗教国家」ですが、もし金日成に何かがあると、一気に新しい流れが生まれ、南北統一に向かうという可能性もある。しかし彼は高齢かつ民衆の支持を失った鄧小平とはかなり違って、国内政治上はまだ健在でしょう。

アジアの変動のきっかけとしては、九七年の香港返還が引き金となる可能性が高いと思います。ですから来年すぐに大きな変化があるとは、ちょっと考えにくい。しかし、その変化は突然

生まれるものではなく、政治的・経済的に民主化への足固めが必要です。

日本もそういった意味では何らかの協力を求められる。しかし、これがまた難しい問題なんです。文化的交流を促進させるという考え方もありますが、アジアはヨーロッパと違い、文化に関しては「共通性の欠如」があって、そういうわけにはいきません。

ですから日本は、やはり戦後築いてきた経済力で協力していくしかありません。先日、香港の将来に関するセミナーが現地であったんですが、そこで発言で、誰も日本に援助を求める人はいなかった。現在、日本が香港での投資残高一位なのですよ。彼らに言わせると、「とにかく日本は今のまま、経済国家でいい、われわれの将来に政治的にかかわらないでほしい」ということらしいんです。

歴史的な関係もあり、仕方のないことかもしれませんが、それが日本の宿命と思つて、とりあえず経済協力を続けていくしかない。アジアへの貢献については、今のところそれしかないでしょう。



流行

本誌特集班



社会

赤塚行雄



環境

半田真理子



医療

中島みち

ソ連のゴルバチョフ大統領にノーベル平和賞をもたらす要因の一つとなった、劇的なベルリンの壁崩壊。この歴史的
事件により、世界が対立から協調の時代へ向かうかに見え
たのも束の間、イ・イ戦争の余燼冷めやらぬ中東の地に、
再び火の手が上がった。イラクのサダム・フセイン大統領
によるクウェート侵攻という暴挙は、中東のみならず広く
世界中を巻き込み、原油価格高騰など経済と政治に計り知
れないダメージを与え続けている。不透明なスタートを切
った今年に続き、平成3年はどんな年になるのだろうか。

企画・構成／編集部、同時代舎 取材・文／田中政男、藤田記子、木庭貴和
撮影／白倉千秋、宇井真紀子 イラストレーション／村比地一正

平成3年を 占う12人の 預言者たち



国内政治

寺谷弘壬



生活

佐藤美紀雄



技術

飛岡 健



スポーツ

佐瀬 稔

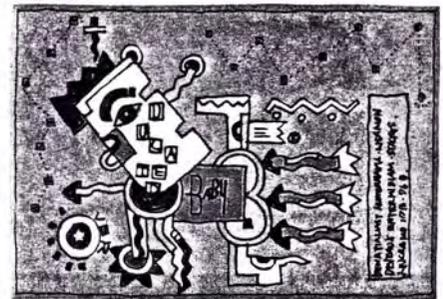


国際政治

中嶋崑雄

特集 1991

Twelve Prophecies



教育

若林繁太



経済

齋藤精一郎



サラリーマン

加藤 仁

20 特集 札幌発・未来のソフト情報産業へ

ビー・ユー・ジー
BUG TO THE FUTURE
佐藤達也

36 特集

資生堂 老舗が断行した自己革新のドラマ

38 組織が自らに課した減益覚悟の大手術 高樹真一

48 射程距離に入ってきた海外売上比率25% 滝田誠一郎

54 東洋と西洋の融合、資生堂広告美術 構成/編集部

60 トップインタビュー

5 今月のキーワード

8 秘書の写真館

並川泰子 (大正海上火災保険会長秘書)

10 私のこととおき

田中保一郎 (東京都民銀行会長)

12 強運紳士録 西谷泰人

石原 俊 (経済同友会代表幹事 日産自動車会長)

14 スコア・メイク・エッセンス 井上幸一

ワンピース打法のすすめ

16 想い出のシネマライブラリー 櫻井 修 (住友信託銀行会長)

駅馬車

256 平成梁山泊 同前雅弘 (天和証券社長)

99 総理になれなかった男たち 小林吉弥

大野伴睦の巻

108 小説 異聞信長記 羽山信樹

是非に及ばず 巻の四 竜興退散の事 たつおき

211 検証・戦後マスコミ事件史 塩澤実信

“夢追い獵師”河出書房の挫折

216 小説 慶応義塾 大下英治

丸山製作所社長 内山治男

243 義塾の原点 童門冬一

鈴屋塾 三重県松阪市



P. 36

平成3年を占う12人の 預言者たち

国際政治 中嶋嶺雄 国内政治 寺谷弘壬 経済 齋藤精一郎
 技術 飛岡 健 環境 半田真理子 医療 中島みち
 社会 赤塚行雄 生活 佐藤美紀雄 サラリーマン 加藤 仁
 教育 若林繁太 スポーツ 佐瀬 稔 流行 本誌特集班

192 異色対談
 高橋三千綱VS.長田渚左
 (作家)
 (スポーツキャスター)
 現代日本スポーツ考

**GO! GO!
 NEO-HEROES**

91 世界の経営者は今… 山田正喜子

リチャード・K・ハーザー

インターナショナル・ハウス・オブ・パンケーキ会長

131 わが人生、わが決断 石川 健

利根康田 (キングラン本部社長)

76 スポーツドキュメント 江森陽弘

カブキ伝説 高千穂明久のプロレス人生

84 山口美江のTalking Wonderland

後藤達郎 (ホテルオークラ社長)

120 過激な論客 舛添要一の言いたい放題

140 政局・舞台裏を読む!! 上田 泰一

142 平成義塾ビジネススクール 講師/坪井 東三井不動産会長

伊藤昌壽 (東レ会長) 大賀典雄 (ソニー社長)

228 日本の探点簿 馬野周二

232 エッセイ 私の「聖・俗・遊」 鈴木治雄

234 わが戦後財界秘史 身命、果てることも… 佐藤正忠

62 特別企画 大人の服飾哲学

198 SECTION 坂本俊夫

プリントユニットCOPRINTA B6 理想科学工業

200 DO THE MAKING SENSE

240 次号予告

海外現地ルポ

148 知られざる大陸・アフリカをゆく 生方幸夫

158 雪解けの北方四島、経済事情 真鍋繁樹

122 寺澤守男の WASHINGTON Letter

124 体のムダ話 松浪健四郎

126 海外安全上の知恵袋 牛場靖彦

130 文字萬言 正気久会

138 こころの道場 紀野一義

252 できるオトコの活脳食 永山久夫

254 花のお江戸は文化繚乱 飯田昌平



P.20